

**令和7年度 第2回川崎市社会教育委員会  
有馬・野川生涯学習支援施設専門部会会議録（要旨）**

日 時 令和7年11月6日（木）14：00～16：00  
会 場 有馬・野川生涯学習支援施設 2階 グループ室  
出席者 部会長 小倉 敬子（公益財団法人 かわさき市民活動センター 理事）  
副部会長 生駒 みを（菅生中学校区地域教育会議 議長）  
委 員 吾妻 典子（川崎市立有馬小学校 校長）  
竹内 和則（川崎市立有馬中学校 校長）  
津田 知充（宮前第一地区社会福祉協議会 会長）  
鴨志田 由美（市民委員）  
山本 啓子（市民委員）  
指定管理者 石渡館長（アクティオ株式会社）三枝（アクティオ株式会社）  
事務局 宮前区役所生涯学習支援課（宮前市民館）石川課長（館長）、下間係長  
欠席者 森 敬起（西野川町内会 会長）

会議の成立 （委員8名中7名出席）

会議の公開・傍聴人 1名

次 第

- 1 あいさつ（宮前市民館長）
- 2 資料確認等
- 3 報告事項
  - （1）令和6年度所管課評価について
  - （2）令和7年度上半期 管理運營業務報告について
  - （3）令和7年度上半期 利用実績・事業・収支報告について
  - （4）その他

配布資料

- 資料1 令和6年度所管課評価（指定管理者制度活用事業 評価シート）
- 資料2 令和7年度第2回有馬・野川生涯学習支援施設専門部会資料

（その他）

- ・アリーノニュース 11月号
- ・図書だより 秋号
- ・スマホ個別相談会

- ・スワッグ（壁掛け）作り教室
- ・クリスマスファミリーコンサート
- ・アリーノ寄席
- ・ふれあいフェア
- ・クリスマスジャズコンサート

- 1 あいさつ（宮前市民館館長）
- 2 資料確認等
- 3 議 事

(1) 令和7 上半期 管理運営業務報告について

石渡館長が資料 2-①を用いて説明。

(2) 令和7 年度上半期 利用実績・事業・収支報告について

石渡館長が資料 2-②～⑦を用いて説明。

(質疑応答)

鴨志田委員

資料 2-④にある令和8 年2 月8 日に開催予定の地域活動・市・区との協力事業「みやまえつながるフェスタ～食・美容・健康・運動・アート・農・子育て～」の主催はどこになるのか。

石渡館長

主催は地域ケア推進課になる。アリーノの協力事業になる。

鴨志田委員

色々な新規事業が開催されている。以前から熱望していた子育てサロン等が順調に開催されているということでこれは明るいニュースだと思う。こういった事業の主催団体は市民活動支援コーナー利用者連絡会の登録団体となっているのか。

石渡館長

子育てサロンを運営している団体は登録団体ではないが、この場所を使うことについては運営委員会に審議を諮って了承を得ている。

鴨志田委員

利用者連絡会の運営も難しい。登録団体は印刷費用が一般より安くなるメリットがあるので登録はしているが運営には関わらない団体があることを知っている。活動をする上では、みんなが平等に場所の提供などの良いことや、負担を分け合うということを考えると、活動をする団体には利用者連絡会に登録をしてもらった方が望ましいのではないかと。活発にアリーノで活動する人が市民活動の核となって担ってもらったことが活性化につながっていくと思う。今後、若い世代との関わりが重要な視点となっていくため、積極的に登録を働きかけて欲しい。

生駒副部長

子育てサロンは1団体が活動しているのか。

石渡館長

1団体が行っている。開催の時には地域ケア推進課が保健師、保育士等を派遣し、協力をしてくれている。地域ケア推進課には子育てサロンの立ち上げについて事前に相談をしていたため、その後も派遣などで協力をしてくれている。

生駒副部長

今後も発展していくと良いと思う。

鴨志田委員

そう思う。やはり活動団体には施設を利用していく立場で主体的に関与していただくのが望ましいのではないかと。利用者連絡会と活動団体が乖離していくのは望ましくないのではないかと。思う。

生駒副部長

今後も色々なところからの協力が必要になってくる。まずこの団体が子育てサロンとして熱心に活動し、徐々に一緒に協力してくれる人々が増えていくと大きくなっていくのではないかと。

石渡館長

子育てサロンは自分の担当事業となっているので、しっかりやっていきたい。

小倉部会長

子育てサロンがアリーノ主催の事業という位置づけであれば、ここの場所を使うことは問題がない。アリーノの主催事業から子育てサロンの新しい団体を作っていく過程であるということだ。

津田委員

資料2-⑦は初めて見た気がするのだが、今まではあったか。

小倉部会長

対応表ではなく、専門部会にて口頭でこのような報告はあった。

石渡館長

基本的に要望等が何もない時には専門部会の資料として紙面をつけていなかった。

利用者の方に不安感を与えるような行動がないよう今後も注意していきたい。

津田委員

利用者の方からの様々な要望に対応していくのは大変なことだと思う。

生駒副部長

不特定多数がいる場で名前を出す時は気をつけた方がよい。個人名を知られることについて、今は敏感になってきている。

### (3) 令和6年度所管課評価について

下間係長が資料1を用いて説明。

(質疑応答)

小倉部会長

評価シートについて、総合評価点が73点というのは良い評価であり喜ばしいことである。

津田委員

評価シートの個人情報保護や情報公開に関して「3」なのはどうか。「4」でもよいのではないか。

小倉部会長

標準点が「3」なので、通常にできていれば「3」である。

アウトリーチ事業に関して、どこの地域で行って欲しいのか、受け手、拠点となる地域を提供してもらえないか。アリーノが開拓していくのは難しいのではないかと思う。地域企業の会議室等を借りて開催してみるのはいかがでしょうか。地域貢献度が上がるので企業としても協力をしてくれると思う。

石渡館長

この辺りはお寺が多くあるので、お寺の集会室を借りられないかあたっている。

小倉部会長

高齢者施設や子ども文化センターもある。費用のかからない場所がいくつかあるので行政の力を借りて探していくと面白いのではないか。

修繕計画について10年ぐらい先を見越して立てていかなければ予算がつかない。耐用年数があり、今後修繕をする箇所も多くなっていくはずなので、長期的に修繕計画を立てるということをやってもらいたい。

(4) その他 (次回の開催日程について)

第3回専門部会は、3月の開催に向け、欠席者も含めて日程調整を行う。